

	1. コロナ禍での診療の連携や現状、また困っていることや対応について				2. 研修についての現状や開催時の困りごと		3. 地域医療連携ネットワークシステムの進捗状況	4. がん地域連携クリニックバスの使用推進のに向けた取り組み
	診療	連携訪問・退院調整	ワクチン接種の協力	面会	院内	院外		
1 松山市民病院	昨年と比して、院内での感染を恐れた受診控えは減少している。	①連携訪問 4月より再開した。 各施設とも往診時に入り口で検温、記帳等をしている印象。 ②退院調整 検温の上、連携医療機関スタッフの病棟への立ち入りを許可し、患者の状態把握をしている。	歯科医師会の関連の接種を皮切りに、高齢者や看護学生の接種が救急輪番日を除外した日定で行っている。	6月1日より平日、14時～16時の間で再開した面会時間を15分と設定し、家族2名まで、週に一度の制限を付けていた。 6月23日より週に2度までと制限を緩めている。 感染対策イエローゾーンの入院患者に対する面会は、オンライン面会を継続している。	委員会などは、最小限の人数とし制限の中で書面や電子会議室、メールなどを活用した運用を実施 全職員を対象とした研修は、動画を部署へ配布した上で、3密を回避した上で、視聴	参加が必須の会議や単位取得の為の研修は、感染対策を十分に講じた上での出席を認めている。	当院より新規に開業した医師は、地域医療連携ネットワークシステムをフル活用し、サマリーなども登録し、かなり喜ばれ、病院が変わることへの患者の不安も払拭できている。2022年6月に提供終了するIE11について、ActiveXに依存する当院（アストロステージ社のSTELLARNET）のシステムは、ベンダーの開発部門に問合せをしているが、現時点では具体的な回答なし。	具体的な進展なし。
2 愛媛大学医学部付属病院	病棟の一部をコロナ病棟として対応しているため、手術件数が少なくなっている。 外来に関しては、付き添い者を最小限にお願いしている。 待合室で患者が密にならないように、患者へPHSを貸し出して分散している。	直接病院へ訪問することが難しい状況のため、WEBを活用して顔の見える連携を図れるように取り組んでいる。しかし、ネット環境やまだ普及していない方法のため先方病院から断られることもある。 退院調整の際に行うカンファレンスは、病院間だけではなく訪問看護や居宅介護支援事業所などとWEBを活用して開催している。	職域接種に向けて準備中	原則禁止。ICなど必要最小限の機会、原則1名のみで来院いただく。	WEB研修で行い、大きな混乱はない。	WEBでの研修を企画する上で、開催場所の確保（WEB環境が整っている場所）に苦慮する場合がある。 また、費用がかかる。 参加する場合も、WEB環境が整っている場所の確保に困ることがある。	連携施設数 50施設 利用者数（院内/院外）64人/69人 登録患者数 633人 院外アクセス数 24,973件 院内アクセス数 29,536件 ※訪問規制がかかっているため、新規参加医療機関の伸び悩みがみられるが、連携件数自体は増加傾向	患者向けにバス使用の現状を確認したところ、私のカルテが活用されていない意見が聞かれたため、現在内容の見直しを行っている。 また、共同診療計画書についても現在見直しを検討している。
3 愛媛県立中央病院	診療に関しては、特段変更はない。（まだ一般の診療機能を縮小中） 外来患者の受付時の接触をできるだけ避けるため、4月から各ブロック受付に自動受付システムを導入した。	令和2年度は当院から出向いての訪問はしていない。 院外からの訪問に関しては、アクリル板を設置した面談室での面会を行っている。 退院調整に関しては、患者数の減少と共に地域連携介入数も減少、また退院前カンファレンスやケアマネの面会も減少している。	3月から依頼があった集団ワクチン接種は、院内スタッフ一同で協力している。 6月から開始した高齢者ワクチン接種も市より出務要請があり、院内医師・看護師・薬剤師などがチームになり集団接種に協力している。	R2年7月より面会禁止。 患者の病状に応じて医師の判断で家族のみ1患者15分以内の面会を許可する場合もある。 面会制限については入院前、入院時に説明して大きなトラブルはない。	医療連携懇話会については人数を上限80名に縮小し開催。またWebでハイブリッド開催。 看護師向けの研修は、県外講師はリモート研修にし、県内講師は対面。 昨年のコロナ感染状況を受け、R2年4月以降は研修の規模に応じて延期・中止・開催をした。	今年度、秋ごろの運用に向けて作業中	各診療科医師に呼びかけを行い、現在肝がんを中心に運用が行われている。今年度新たに肺癌術後バスの活用を目指している。	
4 済生会松山病院	発熱者（37.5℃以上）の患者は発熱外来へ案内	訪問は自粛・特に変わりなし	「基本型接種施設」として協力 医療従事者向けワクチン接種（近隣医療従事者）：2021/4～開始 6/3終了 高齢者向けワクチン個別接種：2021/5/31～個別接種開始 高齢者向けワクチン集団接種：2021/5/22～集団接種会場に派遣（医師・看護師・薬剤師）コミセン（休日）、松山市民病院のサポート ・中島本島と離島住民（休日）：なかじま中央病院のサポート ・特養入所者（平日）・企業向け（平日時間外） ・ワクチン接種後のアナフィラキシーショック時の対応	6/25より「面会禁止」→「面会制限」に移行 ・平日14時～16時のみ 荷物の受け渡しに限り病棟へ上がっていただく ・週に1～2回程度 ・10分～15分の間 ・ Web面会禁止	資料による講習とアンケート Zoom等を活用しオンラインでの研修が中心	運用なし。	2020/12～胃癌・ESD後のバスの運用を1件開始 現在連携医療機関は2箇所 年間1件獲得を目標	

5	<p>松山赤十字病院</p> <p>病院内への入口は正面玄関のみとなり、入口付近にアルコール消毒およびサーモグラフィーを複数設置しているが、人員を配置していないため徹底はできていないのが現状。</p> <p>初診患者においては初診受付にてコロナ問診の内容を確認し、症状等があれば待機スペースにて待機させている。しかし再診患者においては再来受付機の人員が少なく問診チェックすることができず、検査等全て済ませ最後に診察の段階になってチェックされるという問題がある。</p>	<p>愛媛県のコロナの方針に従い、周囲の状況を見ながら、その都度対応している。</p> <p>訪問や退院調整は、必要時には来院していただき、ソーシャルディスタンスをとりながら、情報共有している。</p> <p>必要時、リモートでのカンファレンスや面談も実施している。</p>	<p>・薬剤師会、実習生等の医療従事者のワクチン接種を行っている。</p> <p>・65歳以上の高齢者の個別接種は救急日を除く月～金で1日36人接種を行っている。</p> <p>・集団接種の医療従事者出務を検討している。</p> <p>・接種予約時間を過ぎても来院されない方への電話連絡、キャンセルになった場合の代わりの接種者の選別、連絡に苦慮している。</p> <p>・接種券、身分証明書、予診票（記載なし含む）を持参せずに来院される方や、来院が早すぎる（1～2時間）方、接種日を間違えて来院される方への対応に苦慮している。</p>	<p>入院患者さんへの面会は原則的に禁止している。但し、当院からご家族の方に来院をお願いする場合は例外的に許可する。</p> <p>面会者は1名（家族のみ）。面会時間は、15時から18時までの短時間（10分以内）</p>	<p>感染対策をとりながら集合研修を実施</p>	<p>院外研修には極力WEBで参加。当院主催の研修はWEB配信実施。</p> <p>また、院内集合とWEB参加を併せたハイブリッド研修も行っているが、コロナウイルスの感染状況を考慮して院内集合を中止する場合もある。</p>	<p>R2年度末時点 連携医療機関数32 施設利用患者数1,677人</p> <p>R3年6月17日時点 連携医療機関数35施設 施設利用患者数1,882人</p>	<p>R2年度は、肺がんの新規バスを整備・運用した。バスの改善、件数増加のため、以前から院内部会にて多職種で検討している。</p>
6	<p>四国がんセンター</p> <p>コロナ対策会議を毎週開催し、コロナに関する様々な内容を決定している。</p> <p>外来では、事前に問診票を記入してもらい発熱チェックを継続している。6月から緊急事態宣言・まん延防止地域からの紹介患者は、抗原検査を実施している。</p> <p>がんドックは、以前の体制に戻った。</p> <p>全身麻酔・ICU入室患者は、PCR・抗原検査を実施している。</p>	<p>①連携訪問 周囲の状況を見ながら、相手方の意向を確認し対応している。</p> <p>②退院調整 問診表に記入してもらい、病棟で面談を実施している。</p> <p>必要時、オンライン面談実施（WEB環境の確保に困ることがある。）</p>	<p>歯科医師会の接種、高齢者の接種を実施している。</p> <p>集団接種会場に医師、看護師を派遣している。</p> <p>患者からワクチン接種に関する問い合わせが多い。</p>	<p>病院側からICや来院の要請があった場合は以外は、原則面会禁止やもを得ない事情の場合は、「面会申請紙」を記載してもらい、審査を行い許可している。</p>	<p>参加者が50人以下なら感染対策を行いながら開催可能</p> <p>緩和ケア研修会は、ワクチン2回接種済みで院外受講者を含め12名でフェイスシールドを着用し実施した。</p>	<p>「緊急事態宣言・まん延防止重点措置」が適用されている地域への往来は禁止している。</p> <p>院外研修そのものは禁止していない。</p>	<p>連携医療機関数：7施設 利用患者：18件</p>	<p>前立腺がん・肺がん・乳がんの連携バスは、昨年と同様の稼働件数である。</p>
7	<p>済生会今治病院</p> <p>正面玄関での体温チェックや発熱患者へのトリーアージで確認。該当がない場合は通常診療を行い、該当する場合は発熱外来で診療を行っている。</p>	<p>訪問は現在行っていない。</p> <p>対応が出来る医療機関とはWEBでやりとりをしている。</p> <p>退院調整は、現状では問題なくできている。</p>	<p>個別接種は施行していないが、集団接種会場に医師、看護師を派遣している。</p> <p>個別接種を施行していないため、患者からワクチン接種の可否の問い合わせが多く、対応に苦労している。</p>	<p>原則は禁止のままである。</p> <p>重篤な場合や、病状説明などで担当医の許可があれば、決められた時間で面会が可能である。</p>	<p>室内の換気をよくして開催は可能。</p> <p>大人数の開催や、院外の参加は原則禁止。</p>	<p>現状ではWEBでの参加のみ許可</p>	<p>前向きに検討中</p>	<p>積極的に地域の医療機関に訪問し、クリニカルパスの推進に取り組んでいたが、コロナ禍で中断している状態である。</p>
8	<p>住友別子病院</p> <p>①コロナ対応業務の増加 電話診療やワクチン接種、新型コロナウイルス感染症の影響による予約変更等にかかる電話対応業務をはじめ、正面玄関での入館者の検温および健康状態のチェックに加え、発熱外来、入院患者の荷物の受け渡し等に関する業務が増加し、現員での対応に苦慮している。</p> <p>②無症状者に対するPCR検査 日本外科学会等において、重症化のリスクを避けるため、全身麻酔手術や局所麻酔手術前のPCR検査の実施が推奨されていることから、当院でも全身麻酔の場合等に限定し、検査を行っていたが、審査機関より、2021年4月以降の保険請求は認められないとの通知を受けたため、対象を縮小し、患者負担として対処することになったものの、その際の説明のみならず、同意が得られなかった場合の対応に時間を要している。</p>	<p>①連携訪問 連携先への訪問を中止しているが、これまでの繋がりから特に困ったことはない。</p> <p>②退院調整 従来どおりの運用に変わりなく、問題もない。</p> <p>ただし、新型コロナウイルス感染症患者の紹介または逆紹介に際し、重点医療機関等での受入までに時間を要するケースのほか、感染のリスクがないと判断されたうえでの逆紹介に対して、院内関係者の理解、協力を得るために時間を要する場合がある。</p>	<p>①集団接種 市から要請を受け、5/29（土）以降、土曜日の午前中に医師2名が予診に携わり、看護師、薬剤師は療法、調製を担っている。</p> <p>6/19（土）から会場内にフロアが追加され、6月末まで当院の看護師、計18名を追加で配置した。医師については、9月末まで延長、配置を求める依頼を受けたため、院内で調整を進めている。</p> <p>②個別接種 市の要請に沿って、5/31（月）から7月末を目途として、平日14時から18時までの間、78人/日の予約枠で接種を開始し、6/9（水）以降は、予約枠を108人/日まで増枠し、医師、看護師、事務員の3職種で、1時間毎の交代制で当番を組み対応している。なお、市より、10/1（金）までの予約枠延長の依頼があり、院内調整を進めている。</p> <p>③職域接種 住友連携会社の社員、約5,000人を対象とした接種を検討しており申請を終えたが、ワクチン不足から、希望日から開始することが困難との通知を受けている。また、今後の予定も示されないまま時間が経過しており、影響は、個別接種に及ぶ恐れがある。</p>	<p>原則禁止とし、洗濯物や日用品等、荷物は、病院スタッフが介在し、受け渡しを行っている。病状等、特別な理由がある場合は、1名限定で短時間の入室を許可している。リモート面会にも対応している。</p> <p>緩和対象者に関しては、より柔軟な対応が許可されている。地域の感染状況やワクチン接種状況から、6月中旬以降、面会規制の緩和に向けた検討を続けているが、近隣医療機関では、面会中止とされており、今しばらく現状維持とせざるを得ない状況にある。</p>	<p>少人数かつソーシャルディスタンスを保つ等、感染対策が適切に講じられている場合に限り、開催が認められている。会議室の利用者数、喫食の可否等を定めたルールを整備し、職員に周知している。</p> <p>また、大人数が集まる外部講師による院内研修会等は、開催を控え、Webによるオンライン研修を活用している。</p> <p>4月に予定していた緩和ケア研修会は、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため延期しており、9月開催を目指して準備を進めている。</p>	<p>法人が定める感染拡大地域への出張、外出は禁止している。</p> <p>なお、学会等は、Web開催が中心となっており、移動、参加の機会が減少している。</p>	<p>①自施設 十全総合病院、愛媛労災病院とのEMAネット経由での疎通確認テストは実施済みであり、テスト患者データの参照テスト等を進めている。また、救急カルテ等、記録情報の拡充、患者属性連携のスピードアップを図り、院内外で利用しやすい環境を整え、近隣診療所の先生方へシステム説明、デモンストレーションを実施する予定である。（前回から、進展なし）</p> <p>②愛媛県全体 愛媛県下での同意書書式および運用の統一が期待される。（前回から、進展なし）</p>	<p>化学療法患者の白血球減少に対するG-CSF製剤の投与のほか、愛媛大学から診療応援として派遣を受けている呼吸器内科の非常勤医師が担当する患者の地域連携を検討している。（前回から、進展なし）</p>

9	済生会西条病院	病院入り口で検温を実施している。37.5°C以上で、風邪症状などで受診される場合 ①いつも行かない場所に往来した。②いつも合わない人と接触した③以下の行動をした。 飲食の伴う懇親会多人数や長時間におよぶ飲食 マスクなしでの会話 不特定多数の人と密になる状態が15分以上続く 共同の喫煙場所を利用 体調が悪い人との接触 2週間以内の行動で①～③の一つでも該当する場合は、自家用車で待機しCOVID-19抗原検査を実施し、陰性確認してから院内で対応する。 また、必要時や緊急時などは担当医へ報告し指示を受ける。	市内は来院が禁止されていなければ訪問。市外についても必要時は訪問 退院調整は、通常通り行っている。面会が禁止のため、通常より家族・施設の方との電話での対応が増えている。 どうしても面談が必要な場合は、外来などで対応。転院調整は、紹介先医療機関へ受け入れ状況など確認している。	ワクチン接種のみ予約制で1時から1時間、54人ずつで16時まで行っている。	全館面会禁止（主治医、病棟師長の判断で一部許可	必要性を検討しながら感染対策をとり開催、参加する。	必要性を検討しながら感染対策をとり開催、参加する。	進展なし。	進展なし。
10	十全総合病院	コロナの検査を実施する場合、検査結果が出るまでに時間がかかり外来診療時間内に間に合わない事がある。	連携訪問については現在実施していない。	要請に応じ対応可能な範囲で応じている。 平日15:00～17:00 30分単位の枠での予約制 現在40名～80名程度の6の倍数で実施中	原則禁止	基本はweb会議 対面開催が必要な場合は、密を避け換気をし人数制限のうえ実施可能	感染拡大地域、準感染拡大地域への出張は禁止 ハイブリッド会議については原則Webでの参加	近隣3クリニックと提携 放射線科への画像撮影依頼のあった患者について画像提供の同意がとれた場合、紹介元医療機関にのみ画像及び所見をネットワーク経由で公開している。費用対効果の面、昨今の経済情勢を鑑みシステムの更新ができていない	マンパワー不足で全く推進できていない。
11	市立宇和島病院	全来院者に対し、来院時調査票の記入を義務化 外来診察、入院受入れは通常通り。 4月下旬より全入院患者に対しPCR検査を実施していたが、6月上旬に全件検査は中止し、 医師が必要と判断した患者及び緊急入院の患者に対してのみPCR検査を実施している。 宿泊の人間ドックは中止し通院ドックのみ実施	4/11より退院前カンファレンスを一時中止としていたが、5/24より再開。ただし、病棟へは上がらず、栄養相談室や講堂を利用し、換気を行い密にならないよう注意して実施 カンファレンス中止中は、ケアマネージャーや訪問看護師と電話での連携を行い、退院後の在宅サービスに繋がった。	当院講堂において、65歳以上高齢者1206名を対象に毎週土曜日にワクチン接種実施（令和3年6月19日～令和3年7月24日 402名/日の3クール） 宇和島市集団接種会場への応援	原則面会禁止。必要な場合は医師の許可した方のみ面会可。来院時調査票の記入、マスク着用、手指消毒、少人数、短時間により許可している。 ライン、ズームを利用しオンライン面会を実施	感染対策を徹底し必要最小限の人数で開催 Eラーニング、セーフティープラスを積極活用する。 当院主催研修については、ライン、ズームを利用しオンライン面会を実施 えひめコロナお知らせネットの利用を検討	県内研修…原則制限はしないが、必要性は精査する。 オンライン会議等を積極的に活用 県外研修…必要な研修以外は原則見合わせる。緊急事態宣言、蔓延防止重点措置対象地域への移動は原則禁止	令和3年5月末現在 参加医療機関 85施設（病院診療所62施設 調剤薬局12施設 訪問看護11施設） 同意者数 19,366人 アクセス件数 115,557件	推進に向けた取組みは進展していない。
12	市立八幡浜病院	受診予約を取る場合には、紹介状と一緒に当院のコロナ問診票をFAXしてもらい、当院の患者対応フローチャートに準じ、 必要な患者に対してはPCR検査を実施 している。 判断が付きにくい患者に関しては、医師・感染管理者に確認している。	原則来院での面会禁止 入院中どうしても必要な介護調査に関しては、主治医の許可のもと病棟ロビーにて実施している。病棟ロビーに出れない患者に関しては、リモートにて実施している。 ケアマネージャーとの退院支援に関しても、リモートで実施している。 ※主治医許可のもと、外来にて短時間面会を実施する場合もある。	月曜日～金曜日に1日60名まで接種を行っている。8月からの接種については曜日や人数を調整中。 市内の開業医も含め、接種率の向上に向けて取り組んでいる。 市の対応として、集団接種を実施するようになっているが、今後のワクチンの供給や接種計画が不透明である。	面会は、原則禁止。ただし、主治医が許可した家族（原則1名、県外は不可）入院患者の家族は、マスク着用、1階エレベーター前での検温、受付簿記入のうえ病棟への立ち入りは認める。※時間外は守衛室で対応 危篤患者の家族の面会については、原則3名まで、県外者は不可。なお、県外の家族しかいない場合は1名のみ。（個室で短時間の対応とする）	会議、研修会等の開催にあたっては、会議室の広さにより人数制限を設けている。 机や椅子の配置は、十分な距離をとる。県内からの参加者のみ。電子カルテの端末を活用したe-learningを実施した。	業務上必要な研修等は、事前に届出を提出し許可を得てからの参加 Web などでの参加の場合は、病院のPCやタブレット、個人のタブレット等で参加	現在調整中 稼働は年明けの1月～2月を目標にしている。	現状では積極的な利用なし。
13	HITO病院	発熱外来でトリアージを行い外来診療を実施 入院予定前患者は、検査を実施して入院 電話診療やオンライン診療も行っている。	zoom等を活用してカンファレンスを実施。病院に来てもらう場合は、病棟ではなく相談室のブースを使用している。	院内の接種 集団接種に医師・看護師を派遣 職域接種は検討中	面会は、原則禁止。ただし、主治医が許可した家族は短時間の許可あり。 相談室や会議室で面会できるようにしている。	Web、zoomを活用	県内の研修は、原則制限はしていない。	特に進展なし	特に進展なし
14	愛媛労災病院								
15	四国中央病院								